

(議長)

次に大門議員の発言を許可いたします。

「大門議員」

議長。

(議長)

大門議員。

「大門議員」

私から2問質問させていただきます。

まず1問。子ども達のネットトラブル未然防止について質問いたします。平成30年度におけるネットパトロールで検出された児童生徒による不適切な書き込みは、檜山管内で23件でした。また、SNSを通して犯罪に巻き込まれる児童生徒も増加しており、江差町内の児童生徒をネットトラブルから守るため、SNS教育が必要だと思いますが、教育委員会として今後どのような取り組みをしていくか伺います。

また、保護者も子供のネット利用の管理、監視が追い付いていないのが現状です。関係機関と協力し、保護者向けの勉強会等、今後行う考えがあるかも伺います。

(議長)

はい、教育長。

「教育長」

子ども達のネットトラブル防止についてのご質問でございます。

先般、大阪市の女子児童がSNSを介して誘拐監禁された事件がございました。道教委ではネットトラブル未然防止のためのネットパトロール等業務をピットクルー株式会社に委託しております。毎月、ネット巡回パトロールをし、道立学校、市町村立学校、私立学校ごとの検出数やリスク分類別に件数が毎月報告されています。そのうち、もっとも件数が多いのは、個人情報の公開で、学校名の他にフルネームを載せた、あとは顔写真を載せたものとなっています。そのほかでは、ごくわずかですが、生徒の飲酒や喫煙に関するうわさや援助交際に関するうわさなどが全道では検出されております。このネットパトロールについては、危険度高にあたる書き込みは即日、危険度中にあたる書き込みは週に1度、危険度低にあたる書き込みは月に1度の頻度で、町教育委員会に報告がくることになっておりますが、現在まで報告がきたことはございません。各学校においても、月1回から2回、ネットパトロールを実施しております。なお、SNS等での友達同士のちょっとしたトラブル等、生徒から学校に寄せられた場合は、関係する児

児童生徒に聞き取りと指導を行うとともに、保護者へ説明、削除等の対応を即実施しているところでございます。また、未残防止に向けたネットワーク安全教室や入学説明会や終業式等での警察署員による安全教室等、定期的に情報モラル教育を実施しておりますし、校長会議及び教頭会議で事あるごとに児童生徒への指導、注意喚起を促しているところでございます。ネットトラブルから子ども達を守るためには、家庭内でのルール作りやフィルタリングの設定等が必要です。今年度も警察と連携し、入学説明会時に保護者生徒向けに啓発活動を実施する予定となっております。また、平成28年、29年度には、教育委員会と青少年健全育成会議の主催で、家庭教育支援事業として保護者、児童生徒向けにネットトラブルの未然防止についての講演会も実施しております。今後も必要に応じて、実施してまいりたいと考えておりますし、各関係機関からのネットトラブル防止に係る啓発資料についても、その都度、配布してまいりますので、ご理解願います。

(議長)

はい、大門議員。

「大門議員」

再質問いたします。

保護者向けのネットの勉強会なんですけれども、11月に実は北海道教育局、檜山教育局の主催で、江差高校でありました。その時なんですけれども、保護者の参加者が7名、その内訳としては、高校関係者が4名で、小中学校関係者が3名でした。その中で江差町の学校、南小1名、北中学校1名でした。せっかくあの、こういう勉強会やっても、やっぱり参加する保護者が少ないので、江差町内の各小中学校、学校で開催して頂けると、保護者の方も参加しやすいと思うんですけれども、今後江差の学校内で、保護者向けのこういう勉強会とか考えありますでしょうか。

(議長)

はい、学校教育課長。

「学校教育課長」

保護者向けの勉強会ということですが、教育長も答弁しておりました。必要に応じて検討もするということですが、町内全学校の保護者を対象とするということになりますと、議員もおっしゃる通り、そんなに参加者が期待できない、限定されるというふうに考えております。で、まずは各学校で保護者が集まりの多い懇談会等での啓発の実施をしてみたいということで、先ほどのご答弁したとおりにやりたいというふうに考えております。また、特に最近SNS関連の児童生徒の事件が多いことからですね、文科省

や道教委、警察等から頻繁に最近も注意喚起の通知及びパンフレット等が届いております。フィルタリングの必要性等をその都度学校に周知してですね、保護者への配布等もお願いしておるところでございますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

いいですか。

はい、大門議員。

「大門議員」

2問目質問いたします。

学童保育について質問いたします。町内には町営のなかよし児童会とつばさ児童会、父母会運営の水堀学童保育所があります。水堀学童保育所の運営は、江差町からの補助と保育料で運営されており、保育料は町営よりも高く、親の負担が多くなっており、今後児童数も減少することから、ますます親の負担が多くなり、今以上の支援が必要と思いますが、町としてはどのように考えているのか伺います。

(議長)

はい、町長。

「町長」

大門議員からの水堀学童保育所に関するご質問にお答えいたします。

水堀学童保育所の運営に対しましては、町では平成27年度から年額30万円の補助を交付してまいりました。議員ご指摘のとおり、保育料を町立学童保育所と比較した場合、水堀学童保育所は月額7千円で、町立より2千円高く設定されておりますが、受け入れ時間や開所日数を見ますと、運営母体の考え方により公立よりも幅広く柔軟に児童を受け入れていただいていることなどが、その理由の一つと考えられます。補助金の増額につきましては、現時点においては検討課題とさせていただきますが、入所児童数や運営母体の財務状況等の推移を踏まえながら、必要に応じて運営母体と協議してまいりたいと考えております。なお現在の水堀学童保育所の施設は、老朽化が激しいことから、優先的に施設環境の改善を図る考えでおりますことを申し添えさせていただきます。

(議長)

いいですか。

はい、大門議員。

「大門議員」

分かりました。以上で私の質問を終わります。

(議長)

以上で大門議員の一般質問を終わります。